

表紙／松田龍平『近松心中物語』  
撮影：JUNJI HATA  
裏表紙／中村 中「アコースティックライブ」  
撮影：酒 忠之  
企画・発行／公益財団法人豊橋文化振興財団  
編集・デザイン／味岡伸太郎＋有限公司STAFF  
令和3年8月発行 51号[隔月発行]



公益財団法人  
豊橋文化振興財団情報誌  
2021年9月-10月  
vol. 51



PLAT NEWS



PLAT CALENDAR

9

September

- 1 [水]—2 [木] 豊橋演劇鑑賞会 第286回例会 こまつ座『化粧二題』  
◎PLAT主ホール
- 4 [土]—5 [日] 劇団M.M.Cオリジナルミュージカル『星の王子様』  
◎PLAT主ホール
- 9 [木] 大学・短期大学・専門学校 進学相談会◎PLATアートスペース
- 10 [金]—12 [日] 『もしも命が掛けたら』◎PLAT主ホール
- 11 [土] Sunset Live 2021◎PLATアートスペース
- 17 [金]—19 [日] ぶらっと文化祭「Art Platter」  
PLAT小劇場シリーズ KAKUTA『或る、ノライヌ』  
◎PLATアートスペース
- 18 [土] ぶらっと文化祭「Art Platter」柳家喬太郎 独演会  
◎PLAT主ホール
- 19 [日] ぶらっと文化祭「Art Platter」  
陽気にスウィング!ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド  
◎PLAT主ホール
- 20 [月・祝] ぶらっと文化祭「Art Platter」アコースティックライブ  
◎PLAT主ホール
- 23 [木・祝] 第17回 荒井嗣雄テノールリサイタル◎PLATアートスペース
- 25 [土] THE ODORI 鈴木馨バレエスタジオ公演VOL.42◎PLAT主ホール
- 25 [土] 第27回 ピアノ演奏会◎PLATアートスペース
- 26 [日] バレエスタジオプリエ 第10回おさらい会◎PLAT主ホール

10

October

- 1 [金]—3 [日] 『近松心中物語』◎PLAT主ホール
- 1 [金] 桂文我 独演会◎PLATアートスペース
- 2 [土] 井垣壮太 ピアノコンサート◎PLATアートスペース
- 7 [木] 若手音楽家育成事業 竹田江梨子 ピアノリサイタル  
『ソナタ・レミニシェンツァ〜回想のピアノ、そしてその先へ〜』  
◎PLATアートスペース
- 9 [土] ブルグミュラーコンクール 豊橋地区予選◎PLATアートスペース
- 10 [日] L&G Dance Studio発表会◎PLAT主ホール
- 10 [日] Tutti Autumn Concert 2021◎PLATアートスペース
- 11 [月] 川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル◎PLAT主ホール
- 15 [金]—17 [日] PLAT小劇場シリーズ  
マームとジブシー『BEACH CYCLE DELAY』  
◎PLATアートスペース
- 17 [日] 豊橋吹奏楽団 オータムコンサート◎PLAT主ホール
- 19 [火] 豊橋技術科学大学 東三河イノベーションフェア2021 in 東三河  
◎PLAT主ホール・アートスペース
- 22 [金] ハルモニア・レニス『シェイクスピアの旋律』◎PLATアートスペース
- 23 [土] 豊橋おやこ劇場協議会 第463回(低・高学年部例会) オペラ『銀のロバ』  
◎PLAT主ホール
- 24 [日] 志多ら×ドラマ「BEAT Fes!」◎PLAT主ホール
- 30 [土] 大崎文化保存会しおかぜ太鼓30周年記念コンサート◎PLAT主ホール
- 31 [日] 三河市民オペラ制作委員会 オペラ・コンサート  
『歌があなたの魂を揺さぶる』◎PLAT主ホール

CONTENTS

表紙  
『近松心中物語』松田龍平 2

INTERVIEW:1  
『近松心中物語』  
俳優の肉体の力で元禄の物語を紡ぎ出す。  
長塚圭史 4

INTERVIEW:2  
ハルモニア・レニス「シェイクスピアの旋律」  
変奏曲のような即興もお楽しみください。  
水内謙一 6

ぶらっと文化祭「Art Platter」  
Platter(大皿)に盛り合わせた、  
演劇、落語、音楽、美術、etc. から、  
あなたの“好き”を召しあがれ! 7

ぶらっと文化祭「Art Platter」  
KAKUTA『或る、ノライヌ』  
アコースティックライブ  
何かきっかけが見つかったらいいな。  
桑原裕子、中村 中 10

ぶらっと文化祭「Art Platter」  
柳家喬太郎 独演会  
楽しみたいじゃないですか。  
柳家喬太郎 12

INFORMATION  
PLAT主催公演情報 14

ぶらっと文化祭「Art Platter」  
ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド  
既存のビッグバンドのイメージを覆す、  
ジャズと笑いの新感覚エンターテインメント。 15

SUPPORT  
TICKET CENTER

裏表紙  
「アコースティックライブ」中村 中  
PLAT CALENDAR



矢作——長塚さんがKAAT 神奈川芸術劇場(以降KAAT)の芸術監督に就任され2021年のメインシーズンの幕開けに『近松心中物語』を選ばれたのはなぜでしょうか。

長塚——2019年にKAATプロデュースで『常陸坊海尊』を演出したのですが、この作品は上演機会が少なく、過去には蛭川幸雄さんが上演された際にも苦労されたという話を伺いました。常陸坊海尊の伝説から第二次大戦を経て高度経済成長期まで繋がる不思議な作品ではあったんですけど、じっくり向き合っていくうちに、『常陸坊海尊』の作者である秋元松代さんに非常に興味が湧きました。そこであらためて『近松心中物語』を読んでみたら、短いセリフの中に簡潔な情報量と、日本語の丸みがあってとても美しく、セリフ劇としての魅力を浮かび上がらせる方向はないかと考えました。『近松心中物語』では忠兵衛と梅川、与兵衛とお亀という、二つのカップルの境遇の違いがとても鮮明に浮かび上がります。この切実は現代にも通じるのではないかと。現世への執着が捨てられない与兵衛を通して、現代へつなぐ時空のトンネルができるのではないかと思い始めました。『近松心中物語』は商業演劇としてとても有名な作品のひとつです。今回、KAATから地元・神奈川の劇作家・秋元松代さんが繋がり、そして代表作である『近松心中物語』に繋がった。この作品をどのように演出したら、というプレッシャーもありましたが、芸術監督就任のオープニングにと、冷や汗を拭いつつ決

めました。

矢作——田中哲司さん、松田龍平さん、笹本玲奈さん、石橋静河さんという二組のカップルのキャスティングは、どういうところからお願いすることになったのでしょうか。

長塚——忠兵衛は非常に難しい役だと思います。田中さんはこの大役を実力的にも担ってもらえるという信頼と、ご本人にとっても不足がないのでは、と、お願いしました。梅川役もこれまた極めて難役ですが、舞台でさまざまな大役を担って多くの経験を積んでこられた笹本さんに、ストレートプレイにもその魅力を分けて頂きたいという思いも込めて、あの肝っ玉を梅川で咲かせてもらえたらと思います。与兵衛は面白くユニークな役です。松田さんはこれまでもご一緒しましたが、非常に真摯に人物の愛嬌のようなものを引き出します。与兵衛という役柄にぴったりだろうと、楽しみです。石橋静河さんは、身体がとても自由です。ハツラツとした若い肉体で、お亀というチャーミングなキャラクターの若い魅力につながったらと非常に期待しています。

矢作——今回は19人の出演者でということですが、どのような作品にしていきたいと思ってらっしゃるのでしょうか。

長塚——優れた戯曲はさまざまな形で上演ができると思っています。本に書かれている登場人物の枠組みのみでやらなければいけないという思い込みから脱出し、19人の俳優でやるからこと、必然的に戯曲は噛み砕かれ、4人の若者の心理が鮮明となり、心中に至るドラマ

## 俳優の肉体の力で 元禄の物語を紡ぎ出す。長塚圭史

演出

10月1日[金]18:00 開演

10月2日[土]・3日[日]13:00 開演

作=秋元松代

演出=長塚圭史

出演=田中哲司/松田龍平、笹本玲奈/石橋静河ほか

会場=PLAT 主ホール

# 『近松心中物語』

個性豊かな俳優19人で紡ぐ、  
新しい「近松心中物語」

## INTERVIEW:1

が近々と迫る。それは絢爛豪華、具象的なセットで語られるのではなく、俳優の肉体によって元禄の物語を紡ぎ出していく。例えばひとつの役の転じ方とか、セリフの回し方とか、一人一役でやっているものが、ぐるぐると入れ替わったりすることで、めくるめく空間がお客様のイメージの中にぐつと湧き上がり、そこには実際になくとも、あるように感じさせる演劇性を活用しながら演出したいと思っています。

矢作——作品自体が唄にも非常に大きなウェイトがあると思うのですが、どうお考えになって、音楽をスチャダラパーさんに依頼されたのでしょうか。

長塚——身請けのお金がお金で足りず徹底的に追い詰められていく格下女郎・梅川と、彼女に一目惚れした市井の忠兵衛。与兵衛はお金はあるけど生き甲斐を見つけない。かたや、「私たちが心中しようよ」と、物語に恋する、お亀。現在の若者たちと変わりません。スチャダラパーさんは、常に都会的であり、ラブを通して時代の気分を照らしてくれるミュージシャンと感じています。現代につなげるパイプになってくれるんじゃないか、という思いが最初にありました。言葉をリズムに乗せて、狂騒的な高揚感をだしていく。元禄時代の音楽とは全然ちがうかもしれないですが、民衆の高揚に繋がっていきけるんじゃないか。もしかしたらこんなこともあったのではないかと思わせるような音楽ができるのではと思います。

矢作——作品の舞台は大坂ですが、関西弁についてはどのようにお考えでしょうか。

長塚——『近松心中物語』ができたときよりも東京で関西弁を耳にすることも多いので、造語を強調すると違和感が生じる可能性もあります。関西弁ベースのイントネーションを守りつつ、あまりかつちりした関西弁にする必要もないと思っています。今回は関西の人も多いのでその力も借りて、関西出身以外の人たちのベースをどこに持っていくかを稽古で相談しながら決めていこうと思っています。

矢作——元禄の世界と、現在の世界がどのように繋がる作品になるのか楽しみにしています。

長塚圭史[ながつか・けいし]  
/劇作家・演出家・俳優。1975年5月9日生まれ。1996年早稲田大学在学中に演劇プロデュースユニット「阿佐ヶ谷スパイダース」を結成し、作・演出・出演の三役を担う。2011年、ソロプロジェクト「葛河思潮社」を始動、2017年には、福田転球、大堀こういち、山内圭哉と新ユニット「新ロイヤル大衆舎」を結成。2008年9月から1年間文化庁・新進芸術家海外留学制度にてイギリスに留学。2021年4月、KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督に就任。5月新ロイヤル大衆舎×KAATがタッグを組み北條秀司の傑作『王将』を公演。

# 「シエクスピアの旋律」

誰もが知っているシエクスピアの  
知られざる劇音楽の世界

10月22日[金]19:00開演

出演＝ハルモニア・レニス

[水内謙一(リコーダー)

村上暁美(チェンバロ&オルガン)]

[ゲスト]広瀬奈緒(ソプラノ)

戸田薫(ヴァイオリン)

会場＝PLAT アートスペース

共演を予定していた  
レ・タンブルは、来日が困難となり  
出演を見送ることになりました。



リコーダー

## 水内謙一

変奏曲のような  
即興もお楽しみください。

## INTERVIEW:2

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化プロデューサー

きいただくと、当時の劇や音楽の楽しさを感じていただけだと思います。

**矢作**— シエクスピアの芝居にも、お客さんの反応を受けてやっていたという名残が感じられます。

**水内**— 昔の音楽でも、誰もが知っているメロディーから始まり、変奏曲のように何回も繰り返して細かい音を入れていくということが即興で行われたので、今回も当時の楽譜に残っているバリエーションに面白いものを加えたり、その場の雰囲気で作っていくと思います。昔の楽譜は簡素な形が多く、上のメロディーと下のバスの2パートしか残ってないものもあります。それを4人で演奏するので、曲の変化に応じて誰がどこを演奏するのかを決め、メロディーに即興的な装飾も入れたりしながら、残っている譜面からどう曲を面白く作るかも、この時代の音楽の魅力です。

**矢作**— メンバーの村上暁美さんと、ゲストのお二人についてご紹介いただけますか。

**水内**— チェンバロとオルガンの村上暁美さんは、即興的に音楽のパッションが出せる素晴らしい方だと思っています。当時の楽譜には和音すら書いてない曲もあるのですが、瞬時になんの和音を弾くかを頭に思い浮かべ、その上で即興的な旋律も入れてくれる。聴くときに一見派手なのは旋律楽器ですが、実は曲を盛り上げてくれる立役者だと信頼しています。

今回ゲストでお呼びするソプラノの広瀬奈緒さんは、英国の歌をきれいな声で発音で聴かせてくださいます。シエクスピアの台詞を知っている方がお聴きになったら、なんてすてきな発音なんだろうと感動していただけるだろうし、初めての方でも、こんなすてきな声で当時は歌っていたんだと感じていただけるのではないかと思います。

ヴァイオリンの戸田薫さんは、器楽のメンバーは歌に寄り添うときもあれば、器楽だけで即興的に盛り上げることも必要になってくるのですが、そういう即興的なパッションを音楽に乗せるのがほんとに素晴らしい方なので、楽しみにしていただけたらと思います。

**矢作**— ご自身のリコーダーの聴き所もぜひ教えてください。

**水内**— イタリア語でリコーダーは「フラウト・ドルチェ」ですが、ドルチェは甘いという言葉です。甘い音色と、リコーダーでないと出せない素朴さも魅力だと思います。今回いろんな楽器の中で、こんなリコーダーの音色もあつたのだとみなさんにお聴きいただけたらと思います。

**矢作**— 最後に、豊橋のお客さまに一言お願いいたします。

**水内**— 今回のタイトルは「シエクスピアの旋律」ですが、シエクスピアを知っている方はもちろん、知らないという方も、気軽な気持ちでお越し下さい。当時の気取らない楽しい感じの音楽から、時代を経て、音楽そのものが芸術的になっていった改作劇時代まで、雰囲気の違いをお楽しみいただけたらと思います。

**矢作**— まず、様々な音楽のジャンルがある中で、古楽を中心に活動していることと思われたきっかけをお教えいただけますか。

**水内**— 大学に入る前、入ってからと、いろいろな音楽を聴いたのですが、一番共感できるものが古い時代の音楽でした。バロックの音楽は、クラシック以降の作曲家の個人的な心情を反映した音楽に比べると、教会や宮廷など聴く人を想定した音楽が多く、喜怒哀楽のわかりやすさや親しみやすさが魅力だと思います。

**矢作**— どのようにしてリコーダーにたどり着いたのでしょうか。

**水内**— 大学は楽理(音楽理論)科に入り、専門の研究分野として古い音楽をやりたいと思っていました。元々、学問を実際の演奏に役立てたいと思っていて、そのためには演奏についても深く知らない、ということ、小中学校のときも得意だったリコーダーを始めてみたら奥が深く、リコーダーにはまっていったという次第です。

**矢作**— リコーダーは身近な楽器ですが、実際は幅広い種類があるのですよね。

**水内**— ソプラノよりもっと小さいソプラニーノもあれば、人の背丈よりも高いリコーダーまで様々なサイズがあり、リコーダーだけで5人6人が集まって合奏するジャンルもあります。リコーダーは管の長さによって音色がかなり違って、小さなリコーダーの華やかな音色と、大きなリコーダーの太くて柔らかい響き、それぞれの音色の違いも魅力です。

**矢作**— 今回の演奏会で使われる、チェンバロとオルガンについてもご紹介いただけますか。

**水内**— チェンバロはグランドピアノに似ていますが、ピアノは弦をたたいて音を出し、チェンバロは弾いて音を出すので、ギターに近い感じです。シャンシャンかき鳴らすような華やかな音色です。

教会のパイプオルガンは大きなパイプが並んでいますが、本公演で使う小型のオルガンも、中にびっしりパイプが入っています。リコーダーは口から吹いて音を出しますが、オルガンは風を送って音が鳴るといった意味で同じ種類の楽器です。

**矢作**— オーケストラで使われる楽器に比べ、音量が繊細な感じがしますね。

**水内**— 音量は小さい分、一音一音の中に細かい表情があります。一度との音量に耳が慣れると、その中でのカラフルな違いがすごく感じられるようになると思います。

**矢作**— 今回シエクスピアに因んだ曲を演奏されますが、その特徴をお伺いできますでしょうか。

**水内**— 今回のコンサートでは、シエクスピアの音楽についての数少ない記録の中から曲をピックアップして聴いていただきます。悲しいシーンで心動かされ、楽しいシーンでは華やかで楽しげな音楽が、劇を盛り上げていたと思います。今回はそんな1シーンをつなげていくプログラムですが、当時の演奏を想像しながらお聴

ハルモニア・レニス Harmonia Lenis/リコーダー奏者、水内謙一とチェンバロ奏者、村上暁美によって結成されたバロック・アンサンブル。レパートリーに応じてヴァイオリンやフルート、ヴィオラ・ダ・ガバンバ等のゲスト・ミュージシャンも加えた多彩な編成で活動し、そのレパートリーはソロ・ソナタ、室内楽、コンチェルト等多岐にわたる。フランスのアンサンブル「レ・タンブル」とは日欧で定期的にコンサートツアーを行い、ヨーロッパの音楽祭に多数出演。ベルギーのFLORAレーベルよりリリースしたCD『甘美なる旋律〜17世紀イタリアの器楽作品〜』は、仏ディアパゾン誌にて5つ星を獲得した。またNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」およびNHK-FM「ベストオブクラシック」に出演し、好評を博した。



## Platter(大皿)に盛り合わせた、演劇、落語、音楽、美術、etc.から、あなたの“好き”を召しあがれ!

今年の秋の4日間の特別企画、ぶらっと文化祭「Art Platter」は、様々なジャンルのイベントが目白押し!

演劇・落語・音楽・美術・子ども向けの読み聞かせやワークショップなど、様々な“好き”を持った人たちが、互いを知り、交流し、新しい“好き”を見つけることができる広場が PLAT に出現します。

総合企画を務めるのは、PLAT 芸術文化アドバイザーの桑原裕子。劇場をまるごと使った大人から子どもまで楽しめる、盛りだくさんの“文化祭”。ぜひ劇場で、あなたの“好き”を見つけてみませんか。

9月17日[金]~20日[月・祝]

総合企画=桑原裕子

(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化アドバイザー)

企画制作=穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

会場=PLAT 各所

玉田多紀

「ダンボールアート展」

9月17日[金]~9月20日[月・祝]  
10:30~19:00(最終日は17:00まで)

PLAT 研修室(大)・(小)ほか  
造形作家の玉田多紀による  
ダンボールアートの展示を行います。

ダンボールアートワークショップ

「ダンボールで好きな生き物を作ろう」

9月20日[月・祝]  
10:30~12:30/14:00~16:00

PLAT 北側広場

身近な素材のダンボールで、  
それぞれ好きな生き物を作ります。



《えほんとことばの森》

9月18日[土]~9月20日[月・祝]

PLAT 創造活動室 B

俳優の添野豪と四條久美子らによる、  
絵本の読み聞かせを行います。

《えほんとことばの森》

おもいつきの声と色

「みんなでつくる紙芝居」

9月20日[月・祝]10:30~12:30

PLAT 創造活動室 B

みんなで描いた絵をもとに、  
そのときかぎりの紙芝居を披露します。

《えほんとことばの森》

哲学対話ワークショップ

「問う、考える、語る、  
聞くを知る」

9月19日[日]13:00~16:00

PLAT 創造活動室 B

自由に語り、互いに話を聞き合い、  
考えを深める「哲学対話」ワークショップ。

写真と映画のワークショップ

「再現写真とよはし」

「危機一髪!映画」

9月18日[土]~9月20日[月・祝]

PLAT 創造活動室 C

昔の写真から今の風景を探したり、  
短編映画を作ってみるワークショップ。

託児サービス

9月18日[土]~9月20日[月・祝]

PLAT 創造活動室 D

公演時の託児を行います。

(事前申込制、有料)



PLAT 小劇場シリーズ

# KAKUTA『或る、ノライヌ』

9月17日[金]19:00開演

18日[土]・19日[日]13:00開演

作・演出・出演=桑原裕子

出演=成清正紀、若狭勝也、四浦麻希、異儀田夏葉ほか

会場=PLAT アートスペース



矢作——今年の秋、芸術文化アドバイザーの桑原さんが総合企画を務めるぶらっと文化祭「Art Platter」を開催します。この中では様々なプログラムを計画していますが、桑原さんはどのようなことをやりたいと思文化祭の企画を考えられたのでしょうか。

桑原——私の活動は舞台演劇が主ですが、ミュージカルや音楽劇などでコラボレーションの面白さも経験してきました。とはいえ、まだまだダンスやアート、落語など、他のジャンルの方々とふれあう機会は少ないんです。文化祭って準備する期間も含めて、みんなで創作していく、その過程がまた面白かったりしますよね。

そういう、お祭りみたいな感覚を、豊橋の街の人たちと一緒にもてるような機会が何かあったらいいなと。若い頃は自分が何をやりたいのか、何が好きなのか、さまよっていた時期があり、たまたま演劇に出会ったのですが、そういう「自分の好きを見つけない人たちに何かきっかけが見つかったらいいなと。浅く広くでもいいから、面白いことを見つけれたらいいなと思って企画しました。

矢作——文化祭として桑原さんから様々な企画のアイデアを出していただいたわけですが、まずは KAKUTA はどういった作品になるのでしょうか。

桑原——タイトルは悩んだ末に『或る、ノライヌ』としました。今の時代、「多様性」だとか、「個の尊重」といった言葉は肯定的に使われますが、そうして何かに属さ

ずにいる自らを「野良」と呼ぶ若者もいます。コロナ禍では特に他者とふれあうことが難しいからなおのことだと思いますが、自分がどこへ行けばいいのか、さまよっている感覚は私にもあります。孤独を許容し、心細さを抱えながらも遅く野良として生きている人たちを描きたい。存在を肯定して「ここにいてよし」と言ってもらいたいし、自ずと感じられるような物語を、ノライヌの目線で探っていきたいと思っています。

矢作——今回は KAKUTA 劇団員のみの出演ですね。

桑原——コロナ禍でゲストを迎える責任も大きいと実感し、劇団員のみでやってみよう。久しぶりの挑戦にプレッシャーもありますが、今ここで自分たちがふんばっていることをこのタイトルに乗せてやってみたいと思います。

矢作——それとともに豊橋でこの公演の初日を開けるのですね。

桑原——「文化祭」が初日です。今回、全ての幕開けを「文化祭」と一緒にやる形で挑戦したい。相当ハードになると覚悟をしています。この数年で豊橋の人と少しずつ接点ができたともあり、豊橋で初日を迎えさせてもらうことはとてもうれしいです。頑張ります。

矢作——次に、ミュージシャンとして「文化祭」に参加していただく中村 中さんの魅力を、桑原さんからご紹介いただけますでしょうか。

桑原——どんな方にお会いしようかとなったときに、中ちゃんをはじめ、私がお仕事で繋がりがあり、好きな

総合企画  
聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化プロデューサー  
アコースティックライブ  
桑原裕子、中村中  
何かきっかけが見つかったらいいな。

方たちに臆せずお声がけさせていただきました。

中ちゃんは、人の心の痛みも自分の痛みも、とにかく痛みから目をそらせない人。もつと鈍感に生きれば楽だろうに、自分を痛めつけてでも探すところがある。出演してもらった『らぶゆ』という作品で最後に「愛って何？愛なんてあるのかな」という台詞を言ってもらったのは、彼女自身が痛みをもっている人だから。たとえば、大都会のスクランブル交差点でほんのちょっと足をくじいている人も「あの子痛そう」と見つけてしまう人ような、痛みを訴えている人ではない人の痛みも見つけてしまうというのが中ちゃんの性であり、因果であり、魅力だと思っています。

**矢作**—— 中村さんはいつ頃から音楽に興味を持ち始めたのでしょうか。

**中村**—— 小学生の頃から音楽をやって生きていくのだろうとは思っていました。ただ、学生の頃って「男子が歌とか料理とかを真面目にやるのは変」みたいな雰囲気があって。私は、今は女性として生きていますが、当時は男子学生だったので、歌が好きだということだからかわれたりもしたので「いけないことなのかな」なんて思いながら、人に隠れて音楽を聴いてました。

小学生の頃に合唱コンクールがあったんですけど、張り切って練習しているとどうしても茶化されるというか。いじめも酷かったんで、それが嫌で歌いたくなくなったりして。でも音楽は好きだから、じゃあピアノ伴奏をすればクラスの男子とも関わらなくて済むかな？と思い、それまで弾いたことなかったピアノの伴奏に立候補して。ドレミも知らなかったんですけど。3カ月後の本番に向けて、学校のピアノでひたすら練習をしました。音楽以外でフラストレーションを発散する場がなかったので、心のよりどころにもなっていましたね。

**矢作**—— プロのミュージシャンとして活動されるきっかけはどのようなことだったのでしょうか。

**中村**—— 学生時代には漠然と「音楽に関わって生きていく」というのは決めていましたが、具体的なビジョン

があったわけではなくて。色々音楽を聴き進めてゆくうちに、シンガーソングライターという自分で曲を書いて歌う人がいることを知って。私は会話とかでコミュニケーションをとるのが苦手で、自分の考えを、他人の目がある場で上手く言葉に出来ないところがあった。なので「人に届ける」というよりは、まずは会話で言えないことを曲にして歌っていました。それからライブをするようになって。曲を作りながら5年くらいライブハウスや路上ライブなどを続けていたら、たまたまデビュー当時のプロデューサーがライブを見てくれて、その後デビューのきっかけを作ってくれました。あと、質問の答えとは違うのですが、私は学生の頃「文化祭」を心から楽しめなかったんで、「ぶらっと文化祭」に今回参加出来るのが楽しみなんです。「文化祭」って同級生とか先生の普段見た事ない顔を見れるじゃないですか。大人しい子だと思ってた子が、お化粧屋敷のメイクのディテールに熱くなっていたり、屈強な運動部の中に歌が好きな人がいたり。他校からやって来る人もいるし、知ってる人の知らない面を知れるのも魅力だと思います。

先程話した合唱もそうですけど、苦手な人とか、普段

中村 中[なかむら・あたる] / 歌手・作詞作曲家・役者。シングル「汚れた下着」(06)でデビュー。2ndシングル「友達の時」(06)発売時にトランスジェンダーであることを公表。同曲で第58回NHK紅白歌合戦に出演。最新作は9thアルバム『未熟もの』(20)。近年の舞台出演は『中島みゆき 夜会 vol.19 「橋の下のアルカディア」』(16)、『HEDWIG and ANGRY INCH』(17)、KAKUTA『らぶゆ』(19)など。2021年8月には小沢道成主宰『EPOCH MAN 「オーレリアンの兄妹」』に出演予定。



は話さない人、嫌いな人とでも、不思議と本番になると協力し合ったり、そうしないとなり立たない場面が多々あって。そういう感じが好きなんですよね。この人いつも気取っていて好きじゃないんだけど、困ってるから助けるかー、みたいな(笑)だから、「ぶらっと文化祭」は誰でも参加していいし、私も楽しもうと思います。

**矢作**—— 桑原さんと中村さんの出会いのきっかけについてお伺いできますでしょうか。

**桑原**—— まず、KAKUTAが2008年に上演した『目を見て嘘をつけ』という舞台を見に来てくださったことがきっかけです。KAKUTAで人魚が登場する舞台をやったことがあるのですが、ご挨拶した時に、白魚のような肌に見とれながら、人魚ってこんな女の子なのかなと思いました。その時はゆっくりお話できませんでした。KAKUTAが2017年から一時期お休みし、復帰を考えたとき、やりたかった人に声をかけたいと思い、中ちゃんに『らぶゆ』という2019年の舞台に出演してもらいました。

**矢作**—— そのオファーで、出演しようと思われたのはどうしてですか。

**中村**—— KAKUTAが好きだから迷いもせず、「やりたい」と思いました。KAKUTAの作品のいいなと思うところは、私は、「家族なんだからわかりあえる」とか、「友達だったらつながってられる」というのを「まやかしかな」と思っているタイプで、全然関わりのなかった人が、刺さっていた棘を抜いてくれるような描写があるところが好きなんです。赤の他人に救われたりとか。

**桑原**—— 血縁だからこと許せないことかもあれば、他人同士が家族のようになれる場合もある。あるべき姿というものを決めずに他者が交わる関係を探しているん

だと思っています。  
**中村**—— あらかじめ用意された縁ではないところでいうことが起こるのが好きなんです。割と薄情うに見える人がサラリと温かい言葉をかけてくれたりとか。そういうのうれしくないですか。

**矢作**—— 桑原さんは中村さんに「文化祭」でどういったことを期待されているのでしょうか。

**桑原**—— 中ちゃんへの期待というより、ただ皆さんに中ちゃんの歌を聞いてほしい。悲劇とも不幸とも言えない、ゆるいぬかるみのなかの不幸を抱えながら、それを「言っではいけない」「思っではいけない」「そういうふう考える自分が悪い」と抑えている人って多いと思うんです。中ちゃんの曲は、「みんな大丈夫!」と押しつけるのではなく、「私はこう思うよ」という感覚で同じ目線に立ってとっと置いてくれる。

今、「絆」とかって強く訴えられれば訴えられるほどしらせちゃうと思うのですが、うまく言葉にできないモヤモヤを抱えている人が、このライブでは自由に、自分で好きな感情をすくい取ってもらえる時間になるんじゃないでしょうか。「ぶらっと文化祭」全体の話にもなるのですが、演劇も音楽も落語もアートも、去年散々「不要不急」と言われてきた。でも、自分にとっての「有要有急」、面白いと思うことや好きなことが、勝手に発芽するような「文化祭」になったらと思うし、中ちゃんの曲はそういうところで自由にいさせてくれます。

**中村**—— 頑張ります。

**桑原**—— 女優とは違う中ちゃんを久しぶりに見られるのも楽しみにしております。

**矢作**—— KAKUTAの新作、として中村さんのライブを楽しみにしております。

## アコースティックライブ

9月20日[月・祝]17:00開演

出演=中村 中、アルケミスト、中尾諭介  
会場=PLAT主ホール



# 柳家喬太郎 独演会

古典も新作も天下一品。

9月18日[土]17:00 開演

出演＝柳家喬太郎

ゲスト＝一龍齋貞寿

会場＝PLAT主ホール

柳家喬太郎[やなぎや・きょうたろう]/1989年柳家さん喬に入門、前座名「さん坊」、1993年二ツ目昇進「喬太郎」と改名、2000年真打昇進。主な受賞歴として、1998年NHK新人演劇大賞落語部門大賞、2005・6年平成16年度・17年度国立演芸場花形演芸会大賞、2006年平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆芸能部門)、2007年平成18年度国立演芸場花形演芸会大賞。

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場ROCK 芸術文化プロデューサー

出演 **柳家喬太郎**

## 楽しみたいじゃないですか。



矢作—— 喬太郎師匠が落語を始めたきっかけを教えてくださいいただけますか。

喬太郎—— 中学高校のときに興味を持ち、大学で落研に入って賞をいただきました。当初は噺家になるつもりはなく、好きな業種に就職したのですが、やはり落語をやりたいと思い、噺家になり、今日に至るということです。

矢作—— どのようなところに落語の魅力を感じられていたのでしょうか。

喬太郎—— ただ好きだから、としか言えないですね。後付けの理屈をつけて説明することはできませんが、当時はただ落語が大好きで噺家になりたいという思いがありました。ただ、食えないだろうという覚悟はしたつもりです。

矢作—— 師匠としてさん喬師匠を選ばれたのはどのような理由でしょうか。

喬太郎—— それも好きだったことが一番の理由ですね。古典落語も新作落語もやりたかったので、何にしても基礎を身につけなきゃという思いがありました。うちの師匠は若くて上手くて、色っぽさもある。新作をやることに関しても、年が若いから認めてくれるかなという狙いも無意識にあったかもしれませんが、やっぱり好きが一番の理由です。

矢作—— 古典と新作落語では、何か切り分けのようなものはあるのですか。

喬太郎—— 演じるということに関しては、根本的には変わらないですね。新作落語はゼロから作るけど、古典は既にある作品です。だから古典は先人がおやりになった資料なり高座を見て、習ったり学んだりできる。ただ古典落語だって、習ったものをそのままやればいいというものではないですからね。自分で演出を加えたり、工夫を加えたりするので、新作っぽいところもあります。だから似ているところもあり、全然違うところもある。

せっかく好きな仕事に就いたんだから色々楽しみたいじゃないですか。桑原さんだって、再演もしながらKAKUTAで新作を書いているけど、魂を込めて、とにかく作ることを楽しみたいんだという思いがある。落語だって、古典芸能なんだから新作なんて邪道というのも、新作だけが素晴らしいというのもナンセンスな話で。落語は落語なので、そういう意味では古典も新作も変わらないですね。

矢作—— 今お話の中で、演出という言葉が出てきたのですが、落語における演出的な視点というのをどのようにお考えですか。

喬太郎—— それは人にもよるし、ネタにもよります。一人で演じること自体、演出が当然入るわけです。ずっと習った通りやっているという人もいっぱいいますし、それも落語にとって悪い方法ではない。古典落語は、この話をやりたいと思って習うわけです。誰とれのこの話はいいとか、あの師匠みたいにやりたいとか、この話を演じてみたいとか、つまり憧れがあるのです。もちろん典型

がなく、書物から起こす場合もありますが、受けないとか、納得いかないとか、やっていくうちに違和感があるところを工夫しますよね。間一つで変わるときもあれば、セリフを変えたことで変わることもある。それは、各々自分で納得しながら試行錯誤していくのですが、結局はお客さんが納得しなければ意味がない。そこをどう折り合いを付けていくか、我々の場合はそれが一種の演出ということですかね。

矢作—— 演劇も落語も表現の仕方が違うだけで、やっていること自体は同じということでしょうか。

喬太郎—— 見方によっては、僕らも演劇の一形態ではあるのです。だけど、演劇じゃねえんだから、そんなにやり込むと落語じゃなくなっちゃうよみたいな価値観もある。落語の場合は、常にブラッシュアップしていくのではなく、壊す作業も必要だし、皆が必ずやる作業は寝かすことですかね。例えば、何とか一つの話ができるようになって、お客さまにも喜ばれて自分でも自信が付き、得意になっているうちに、だんだん、「ああ、駄目になってきちゃったな」と。何かこの噺がすり切れちゃったなと思うとき、いっぺんお蔵入りする。で、あるときふっと、やってみると、変に良くなっていたりすることがある。新鮮な気持ちでやるからじゃないですかね。だから演劇のブラッシュアップと似て非なるところもある。

矢作—— 喬太郎師匠は、俳優としても活動されている中で、桑原さんと出会われたそうですが。

喬太郎—— 桑原さんの演出はまだ受けたことがないですけど、なんか怖そうですね(笑)。楽屋あいさつに行くと、「師匠、やろうね!やろうね!」と言われるけど、『愚図』に出た正蔵師匠が「厳しいよ桑原さん」と言ってたし。僕は桑原さんのファンですから、お芝居はやっぱり客席から観たいのですよ。

芝居のときは、自分が落語家ということを極力忘れるようにしています。落語家は、演出を受けることがないんですよ。習い終わってからは、自分でやるしかない。演出を受けるっていう経験を普段してないからこそ、ものすごく楽しいし、新鮮です。おっかないけど、お芝居に興味があり、お話があったら、噺家は出たほうがいいと思います。

矢作—— 豊橋での演目はその場で、これかなとお決めになるのでしょうか。

喬太郎—— 全然考えてないです。やはりその場でどういってお客さんが来てるのか見てみないと。

矢作—— 最後に、来場を考えている方に、お言葉をいただけますでしょうか。

喬太郎—— 勉強しないで来てください。以前に比べれば、だいぶ敷居は低くなりましたが、知識がないと楽しめないのではと思っていらっしゃる方がまだ多いのです。僕らは芸術ではなく芸能ですから。先入観なしで聞いていただければありがたいと思います。それが一番と思います。

矢作—— ありがとうございます。

ゲスト・女流講談師

## 一龍齋 貞寿



一龍齋貞寿[いちりゅうさいいっしゅ]/2002年一龍齋貞心に入門、2003年講談協会見習、2003年講座協会前座、2008年二ツ目に昇進、2017年に真打昇進。



### 託児サービス対象公演

要予約。生後6ヶ月以上。  
お一人様500円。お申込み、お問合せはプラットチケットセンターまで

### チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

- 劇場窓口・電話 0532-39-3090 [休館日を除く10:00-19:00]
- オンライン <http://toyohashi-at.jp> [24時間受付・要事前登録]

### U25・高校生以下割引ご案内

- 料金はU25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:1,000円
- 購入方法は各公演の一般発売初日から取扱い。
- その他は本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。

### 新型コロナウイルス感染症予防対策

- チケット販売=感染予防のため発売初日の窓口販売はなし。翌日以降残席がある場合は窓口販売あり。
- ※その他、最新情報は劇場ホームページからご確認ください。

KAJUTA『或る、ノライマ』



撮影:相川博昭

竹田江梨子 ピアノ・リサイタル



マームとジブシー『BEACH CYCLE DELAY』



撮影:井上佐由紀



三宅裕司

野村万作・野村萬斎 狂言公演 2021



小倉久寛

野村万作

野村萬斎

アル☆カンパニー『POPPY!!!』



『ザ・ドクター』



大竹しのぶ

**8/28 [土]** 11:30開演 / 15:00開演  
**8/29 [日]** 11:30開演  
**好評発売中** 8月28日 11:30のみ

プラット親子わくわくプログラム 2021  
**『めにみえない みみにしたい』**  
 ●作・演出=藤田貴大●音楽=原田郁子●衣装=suzuki takayuki  
 ●出演=伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]大人3,500円、U25 1,700円、こども(高校生以下)500円

**9/10 [金]** 18:00開演  
**9/11 [土]** 13:00開演 / 18:00開演  
**9/12 [日]** 13:00開演  
**予定枚数終了** 9月11日 13:00のみ

**『もしも命が描けたら』**  
 ●作・演出=鈴木おさむ●出演=田中圭、黒羽麻璃央、小島聖●会場=PLAT主ホール  
 [特別協賛:サーラグループ][共同主催:メ〜テレ、メ〜テレ事業]

**9/17 [金] - 9/20 [月・祝]**  
**好評発売中**

**ぶらっと文化祭「Art Platter」**  
 ~Platter(大皿)に盛り合わせた演劇、落語、音楽、美術、etc. から、あなたの“好き”を召し上がれ~  
 演劇・音楽・落語・アート・ワークショップなど様々な「好き」を持った人たちが、互いを知り、交流し、プラット立ち寄った場所で、新しい「好き」を見つけてることができる広場がPLATに出現します。●総合企画:桑原裕子(穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化アドバイザー)  
 [特別協賛:サーラグループ]

**10/1 [金]** 18:00開演  
**10/2 [土]・10/3 [日]** 13:00開演  
**好評発売中** 10月2日のみ

**『近松心中物語』**  
 ●作=秋元松代●演出=長塚圭史●出演=田中哲司 / 松田龍平、笹本玲奈 / 石橋静河ほか●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席 10,000円、A席 8,000円、B席 6,000円ほか  
 [共同主催:メ〜テレ、メ〜テレ事業]

**10/7 [木]** 14:00開演  
**好評発売中**

若手音楽家育成事業  
**竹田江梨子 ピアノ・リサイタル**  
**『ソナタ・レミニシェンツァ〜回想のピアノ、そしてその先へ〜』**  
 演奏曲の解説を交え、音楽を理解しながら楽しむことができるコンサート。今までとこれから、様々な思い出を想起させるような、時代を超えたプログラムをお届けします。●出演=竹田江梨子[ピアノ]●曲目=メトネル:ソナタ「回想」、フォーレ:ヴァルス・カプリス Op.30 ほか(予定)  
 ●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]一般1,000円ほか

**10/15 [金]** 19:00開演「BEACH」  
**10/16 [土]** 13:00開演「CYCLE」/ 18:00開演「DELAY」  
**10/17 [日]** 13:00開演「DELAY」  
**好評発売中** 10月17日のみ

PLAT小劇場シリーズ  
**マームとジブシー『BEACH CYCLE DELAY』**  
 2018年からマームとジブシーがドイツのシューズブランド・trippenと共に取り組んでいる本作。これまでに『BEACH』『BOOTS』の2作品を発表しましたが、『CYCLE』は今回が初上演。『BOOTS』はタイトルを『DELAY』に改め、リニューアルします。  
 ●会員先行=8月7日(土)●一般=8月21日(土)●作・演出=藤田貴大●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]一般3,500円、3作品セット券9,000円ほか

※一部公表していたタイムテーブルが変更になりました。

**10/22 [金]** 19:00開演  
**ハルモニア・レニス**  
**『シェイクスピアの旋律』**  
 ●会員先行=8月21日(土)●一般=9月4日(土)●出演=ハルモニア・レニス、[ゲスト]広瀬奈緒(ソプラノ)、戸田薫(ヴァイオリン)●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]一般3,500円ほか

※共演を予定していたレ・タンブルは、来日が困難となり出演を見送ることになりました。



マームとジブシー 『BEACH CYCLE DELAY』

**11/6 [土]** 13:00開演 / 18:00開演  
**11/7 [日]** 13:00開演 / 17:00開演  
**高校生と創る演劇『ミライハ』**  
 公募による高校生と劇場やプロのスタッフがともに創作する演劇公演の第8弾。岸田國士戯曲賞受賞の松原俊太郎の新作を、スペースノットブランクを演出に迎えて創作します。●会員先行=9月26日(日)●一般=10月3日(日)●作=松原俊太郎●演出=スペースノットブランク(小野彩加、中澤陽)●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]一般2,000円、U25 1,000円、高校生以下500円  
**11月6日 13:00のみ**

**11/12 [金]** 18:00開演・**11/13 [土]** 13:00開演  
**11月13日 13:00のみ**

劇団スーパー・エキセントリック・シアター  
**第59回本公演ミュージカル・アクション・コメディ**  
**『太秦ラブソディ〜看板女優と七人の名無し〜』**  
 社会性のあるテーマを扱いながら、総勢40名以上による笑い、ダンス、アクション満載のエンターテインメント作品をお届けします。●会員先行=9月11日(土)●一般=9月25日(土)●脚本=吉高寿男●演出=三宅裕司●出演=三宅裕司、小倉久寛、劇団スーパー・エキセントリック・シアター●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席7,000円、S席ベア12,000円、A席5,000円、B席3,000円ほか

**11/21 [日]** 14:30開演  
**令和3年度公共ホール現代ダンス活性化事業**  
**市民と創造するダンス公演**  
**『舞踏 豊橋妖怪百物語』**  
 日本を代表する舞踏カンパニー大駱駝艦の田村一行と公募による市民参加者が創るダンス公演です。豊橋に伝わる妖怪にまつわる民話を記した書籍『豊橋妖怪百物語』を基に創作した新作を上演します。●会員先行・一般同時=10月2日(土)●振付・演出・出演=田村一行●出演=公募による市民●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]一般1,000円ほか

**11/25 [木]** 14:00開演 / 18:30開演  
**14:00のみ**

野村万作・野村萬斎 狂言公演 2021  
 人間国宝・野村万作と、現代劇や映画でも活躍する野村萬斎らによる狂言公演です。●会員先行=9月25日(土)●一般=10月9日(土)●出演=野村万作、野村萬斎、野村裕基、ほか万作の会●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席6,000円、A席5,000円、B席3,000円ほか※各発売初日は、お一人様1申込につき1公演のみ4枚までの枚数制限あり。[特別協賛:サーラグループ]

**12/4 [土]・12/5 [日]** 14:30開演  
**12月4日のみ**

PLAT小劇場シリーズ  
**アル☆カンパニー『POPPY!!!』**  
 PLATのアソシエイトアーティスト平田満と井上加奈子のプロデュースユニットであるアル☆カンパニー新作であり、2020年11月にリーディング公演として上演した作品の本公演です。不器用な人々が奇妙な出来事に翻弄されながら懸命に生きる、今いちばん新しいコメディ?●会員先行=10月9日(土)●一般=10月23日(土)●作・演出=野田慈伸●出演=平田満、井上加奈子、町田水城、平田耕太郎、徳橋みのり、青山祥子●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付]一般3,500円ほか

**12/10 [金]** 18:00開演  
**12/11 [土]・12/12 [日]** 13:00開演  
**12月11日のみ**

**『ザ・ドクター』**  
 ロバート・アイクの作・演出により2019年初演、その後2020年ローレンス・オリヴィエ賞作品賞など英国の演劇賞各賞にノミネートされた医療研究所を舞台にした注目の話題作を栗山民也の演出、大竹しのぶらの出演により上演します。●会員先行=10月16日(土)●一般=10月23日(土)●作=ロバート・アイク●翻訳=小田島恒志●演出=栗山民也●出演=大竹しのぶほか●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席10,000円、S席ベア18,000円、A席8,000円、B席6,000円ほか※各発売初日は、お一人様1申込につき1公演のみ4枚までの枚数制限あり。

ワークショップ縁日  
**9/5 [日]** 11:00開演 / 14:30開演  
**若手音楽家育成事業 プラット親子わくわくプログラム2021**  
**交流スクエアコンサート**  
 プラットワンコインコンサート出身の打楽器とピアノの2人組、Le deux mai(ル・ドゥーメ)が贈る、子どもと大人が一緒に楽しめる無料コンサートです。弾むようなリズムとメロディーが交流スクエアいっぱいに広がります。●出演=Le deux mai 杏名大地[打楽器]、鈴木結花[ピアノ]●曲目=ジョアリン:バイナブル・ラグ、サラサーテ:ツイゴイネルワイゼンほか●会場=PLAT交流スクエア●料金=無料(事前申込不要)

**9/5 [日]** 11:30~15:30  
**『げきじょうであとぼう』**  
 演劇づくりに、カラダを使ったゲーム、プラットならではの夏の縁日。みんなといっしょに劇場まるごとつかって遊んじゃおう!●会場=PLAT創造活動室Aほか●対象=小学生以上●参加費=無料(当日申込)

ワークショップ・レクチャー  
**9/19 [日]** 13:00~16:00  
**ぶらっと文化祭「Art Platter」関連事業**  
**『哲学対話ワークショップ 問う・考える・語る・聞くを知る』**  
 ●講師=梶谷真司●会場=PLAT創造活動室B●参加費=1,000円●対象=高校生以上(演劇経験不問)●募集人数=15人程度(選考)●申込方法は①申込書に必要事項を記入の上、窓口を持参かFAX(0532-55-8192)②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

ぶらっと文化祭はこの他にもワークショップや読みきかせなどのイベントあり。詳細はホームページ等をご覧ください。

陽気にスイング!

# ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド

既存のビッグバンドのイメージを覆す、  
ジャズと笑いの  
新感覚エンターテインメント。

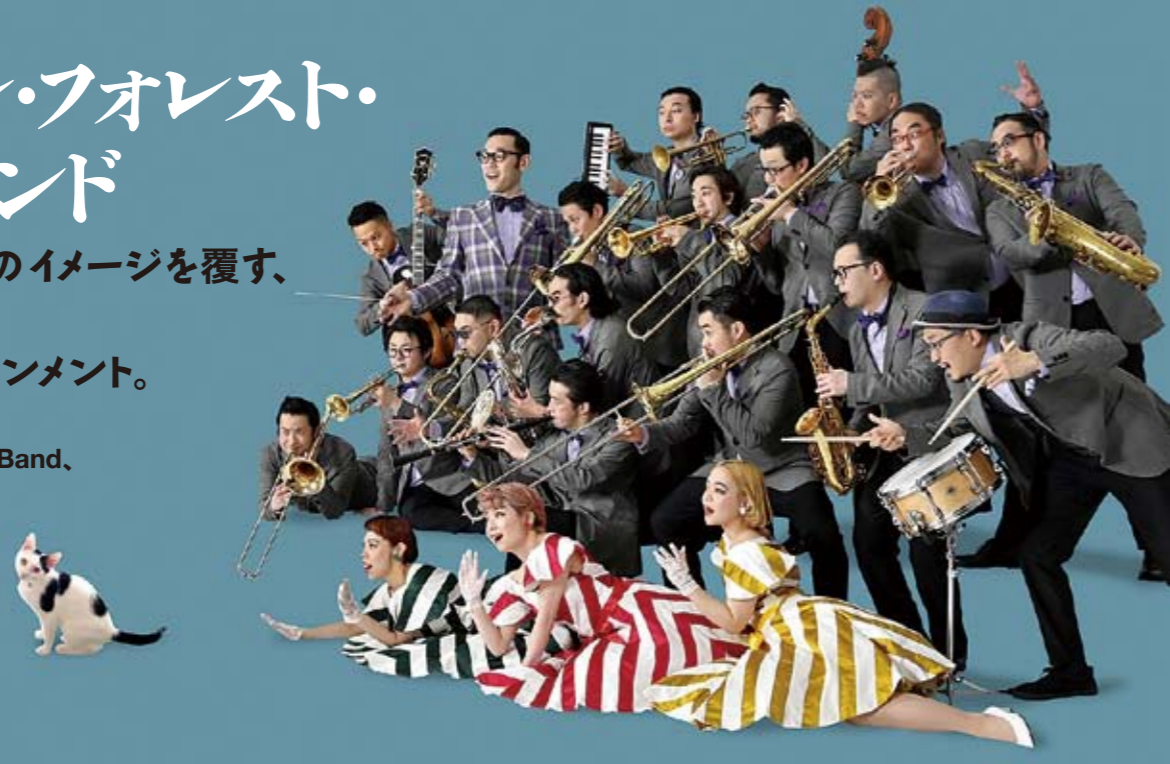
9月19日[日]17:00開演

出演=Gentle Forest Jazz Band、

Gentle Forest Sisters、

アモーレ&ルル

会場=PLAT主ホール



今、日本中を見ても、これだけエキサイティングで、スタイリッシュで、エンターテインメント性に溢れ、かつプロフェッショナルな実力派のビッグバンドは他にないだろう。

近年では『ウォーターボーイズ』、『スウィングガールズ』の矢口史靖監督最新作『ダンスウィズミー』の音楽や、三谷幸喜監督×香取慎吾主演によるAmazon Prime 配信『誰かが、見ている』の主題歌も担当。さらに話題のNetflixドラマ『全裸監督』にも出演し、お笑いトリオ・東京03とのコラボレーション企画も行うなど、ジャズ界／音楽界のみならず幅広い分野において注目を集め、今や「日本でもっとも多忙なビッグバンド」と呼ばれているバンド。それが、今回ふらっと文化祭「Art Platter」に登場するジェントル・フォレスト・ジャズ・バンドだ。

ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド(以下GFJB)のステージの最大の魅力は、何と言ってもその陽気でワクワクする突き抜けたエンターテインメント性だ。スウィング・ジャズとダンス文化が開いた1920～30年代、いわゆる「古き良きアメリカ」のエッセンスをたっぷり抽出し、それをコミカルかつスタイリッシュな現代のパフォーマンスに仕立て上げる。そのすべてを緻密に構成しているのが、リーダー兼指揮者のジェントル久保田。「古き良きアメリカ」に呼応するように、「古き良き昭和」の浅草演芸から飛び出してきたようなルックスとエンターテイナーぶりはスマイリー小原やトニー谷を彷彿とさせる。「踊る指揮者」と呼ばれる彼のキレの良いコミカルな動きと表情は、一見バンドを指揮しているようで、その実観客の”楽しむ心”を巧みに操ってしまう。音楽とシンクロしながら、ソロの見どころや楽曲の盛り上がり箇所にも巧みに観客の意識を誘導する彼の動きを見ているだけで、自然と笑顔が止まらなくなってしまう。

もちろん、GFJBの音楽は、コメディ要素のみのイロ

モノでは決してない。メンバーはいずれも現代の邦楽界で引っ張りだこの腕利きプレイヤー揃いで、その演奏の実力は折り紙付き。心湧き立たせるリズムと、強力なグルーブ、巧さとキレの良さを併せ持った実力派の演奏と、ジェントル久保田の動きが合わさってこそ生まれるジェットコースターのような疾走感ほまさに快感だ。普段はオリジナル楽曲が多い彼らのステージだが、今回の公演では特別に「A列車で行こう」「シング・シング・シング」「イン・ザ・ムード」などのビッグバンドの超有名定番楽曲がプログラムに予定されている。極上の演奏とパフォーマンスで奏でられるこれらの楽曲の仕上がりにも期待したい。

また、1950年代の米ファッション誌から抜け出してきたような可憐な女性3人組「ジェントル・フォレスト・シスターズ」によるヴォーカル曲も見逃せない。キュートでどこかノスタルジックな歌声とハーモニー、愛らしい衣装や3人揃ってのチャーミングな振り付けも、スウィングかつムーディーな世界観をオシャレに演出してくれる。

さらに今回は、スウィング・ジャズとともに発展したスウィング・ダンス＝リンディー・ホップのユニット「アモーレ&ルル」まで登場。リンディー・ホップは、1930～40年代のニューヨークのダンスホールで花開いたダンスで、スウィング・ジャズで踊るためのものとして生まれたもの。ヴァンテージ・テイストの衣装に身を包んだ男女ペアが、自由を謳歌するように陽気かつ軽やかに踊るスタイルはまさに当時の空気感をパッケージしている。そんな時代背景やダンス誕生の必然性からも、アモーレ&ルルのダンスとGFJBの奏でるスウィング・ジャズとの相性はいうまでもなく抜群で、100%の楽しさをもつGFJBのステージを120%にまで押し上げてくれる。

古き良き時代の音楽、笑い、歌、踊りが、フレッシュなエネルギーで現代にアップデートされ蘇るスウィング・ジャズ・エンターテインメント・ショー、ぜひお見逃しなく!



## SUPPORT

知識製造業  
三遠機材株式会社  
http://www.san-en.co.jp

Gallery 48  
呉服町48 TEL.54-4848

有限会社 魚伊  
電話 52-5256

株式会社 竹尾建築設計事務所  
代表取締役 竹尾 誠  
豊橋事務所/豊橋市平川南町91-2 千440-0035 Tel.0532-62-1331(代) Fax.0532-62-1332  
浜松事務所/浜松市東区流通元町13 千435-0007 Tel.053-422-3628(代)

グロリアンピアノ地域特約店  
白羽楽器 株式会社  
電話 053-464-3015

竹内産婦人科  
産婦人科 婦人科(不妊治療)  
豊橋市新本町23 (豊橋市西産婦人科) 電話 52-5256

ケンチク 701  
KURONO ARCHITECT STUDIO  
y.qlo170@gmail.com

うつ、統合失調症、精神遅滞、発達障害、脳梗塞、人工透析、人工関節など  
豊橋・豊川障害年金相談センター  
初回相談無料 ☎0120-891-498  
豊橋市花中町 160-9 障害年金専門社会保険労務士 竹下英司

看板広告 アラキスタジオ  
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら  
精文館書店  
TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる  
株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科  
医療法人栄真会 伊藤医院  
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間 数きく宗  
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。  
豊橋調理製菓専門学校  
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

豊橋銀行協会 (順不同)  
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行  
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 第三銀行  
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶屋菓子専門店  
若松園  
御菓子司

西村能舞台  
豊橋市上伝馬町  
代表=西村能二  
Mail=nnbutai@gmail.com

気まぐれコンサート  
事務局/0532-62-9259(小川恵司)

安心・安全な地下駐車場  
P-500  
ソウの親子の  
看板が目印  
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は  
30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科  
医療法人 塩之谷整形外科  
理事長 塩之谷 昌  
豊橋市植田町閑取54 電話 0532-25-2115(代)

豊橋名産 傘あくわ

井上皮フ科クリニック  
診療時間 月・火・木・金 10:00～13:00 16:00～19:00  
土 10:00～14:00 休診日=水・日・祝  
電話 0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。  
共和印刷株式会社  
豊橋市小池町36番地の1 TEL.46-3281 FAX.46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科  
医療法人 大岩整形外科・皮フ科  
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆  
書道用品専門店  
高誠堂  
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得  
株式会社 三光製作所  
三光精密工業株式会社  
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

生活にファインクオリティ  
sala

豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

広告募集

## TICKET CENTER

チケットの購入・お問合せ  
プラットチケットセンター

電話・窓口  
0532-39-3090 [休館日を除く 10:00～19:00]  
オンライン  
http://toyohashi-at.jp [24時間受付・要事前登録]

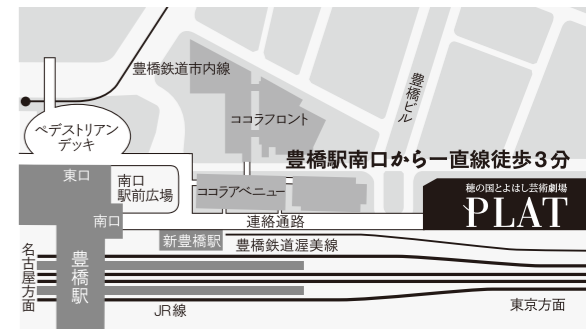


プラットフレンズ募集  
入会金・年会費無料

特典  
1 公演情報をメールでご案内します。  
2 インターネットでチケット予約ができます。  
3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。  
※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。  
●料金  
U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額  
高校生以下:1,000円  
●購入方法  
各公演の一般発売初日から取扱い。  
●その他  
本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。  
座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。  
一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地  
電話=0532-39-8810[代表]  
開館=9:00～22:00 休館日=第三月曜・年末・年始。  
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。  
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、  
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、  
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT